

あきたけ

秋竹小学校 学校だより
令和8年10月13日号



「笑顔は、世界共通の言葉」

本日10月13日(火)から後期が始まりました。前期を無事に終えることができましたのも、保護者の皆様や地域の方々のご協力があったからこそと、深く感謝しております。本当にありがとうございました。後期もどうぞよろしくお願いいたします。前期終業式にてこのようなお話をしました。

『世界的に有名なディズニーの生みの親、ウォルト・ディズニーは「笑顔は、世界共通の言葉だ。」という言葉を残しています。皆さんも笑顔を大切に、言葉を大切に。後期もいい「なかま」を作っていきましょう』

笑顔いっぱいの秋竹小学校を後期も目指していきます。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

「桜の木、ありがとうございました。」

秋竹小学校の中庭には、桜の木があります。桜は春に花を咲かせます。春は、出会いと別れの季節です。きっと、この桜の木は毎年のように子どもたちを出迎え、そして見送ってきたと思います。

正しい記録がなく憶測なのですが、とても立派なこの桜の木は、開校当初に植えられた小さな苗木が成長してきたものではないかと思われます。(少なくとも30年前の卒業アルバムには、満開の美しい姿の写真が残っています)

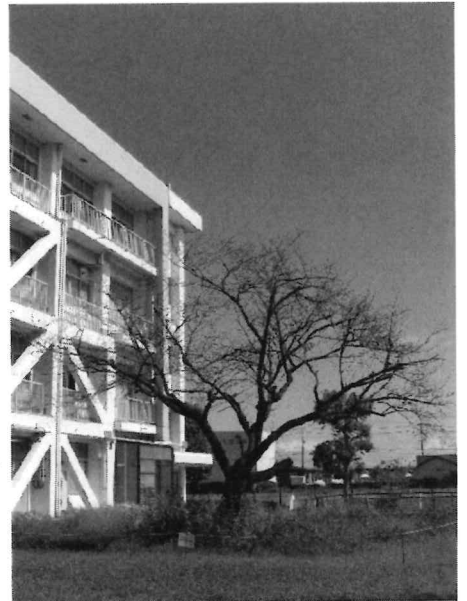
まさしく「秋竹小シンボルの木」だと思います。毎年、この桜の木の下で、学級の写真を撮るのが恒例だったとも聞いています。

毎年の秋竹小を見守ってきた桜の木。今年の春は、花が咲きませんでした。葉もつきませんでした。復活を望み、様子を見ていましたが、9月末には大きな枝ごと折れ落ちてしまいました。虫により、木が傷つけられていたということだそうです。

秋竹小の歴史のひとつが区切りをつけることは、とても悲しいですが、思い出がなくなるわけではありません。桜の木はいつでも私たちを、これからも変わらず見守ってくれる気がしています。今後その場所には新しい木が植わるかもしれません。それは桜の木が私たちに「命のバトン」というものを教えてくれているのだと思います。

本年度中には、何らかの処理がなされるということです。それまで、危険防止のために木の周りは立ち入り禁止にしています。ご来校の際には、お気をつけください。

私たちの桜の木。「さようなら」ではなく、「今まで大変お疲れさまでした。いつも秋竹小を見守っていただき、ありがとうございました。」の気持ちを贈りたいです。



行事予定の変更について(再掲)

11月19日(木) クラブ → 一斉下校15時
11月26日(木) 一斉下校15時 → クラブ

11月19日(木)は下校後に作品展の展示作品や会場の片づけを職員で行うため、4～6年のクラブの日を変更させていただきます。ご了承をお願いいたします。

※11月27日(金)は「県民の日ホリデー」です(学校はお休みです)。